

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【授業担当者】

所属/職名: 医歯学総合研究科/教授

氏 名: 中村 雅之

授業科目名	選択実習
研修先 (大学・国・都市名)	ディポネゴロ大学(インドネシア・スマラン、ジェパラ)、ソウル大学(韓国・ソウル)、マインツ大学(ドイツ・マインツ)、トロント小児病院(カナダ・トロント)、マサチューセッツ総合病院(アメリカ・ボストン)、ミシガン小児病院(アメリカ・デトロイト)
研修期間	令和 5年 2月13日 ~ 令和 5年 7月14日
<p>〔研修の目的・概要〕</p> <p>医学科6年生「選択実習」では、大学病院の他に、臨床教授が在籍し指導できる県内もしくは海外の医療機関を学生が選択し、臨床実習を行っている。本科目は、単位取得を要する必修科目であり、興味と必要性を有する科目を自ら選び学ぶことにより、医療に対する、より高いモチベーションを持って、5年生の全診療科で行う「臨床実習」の医学的知識、技能、態度を更に深めることを目的としている。特に海外では、①先進的な医療に接する、②異なる医療システムや体制を学ぶ、③臨床研究を学ぶ、④多様な民族的背景を有する患者や医療スタッフ、学生に接する、⑤途上国での医療を学ぶ、などの目的を付加し、複数の国の医療機関での受け入れを準備し、医療面での地域活性化に資するグローバル人材育成を目的とする実習科目を構築している。「国際的医療とはどのようなものか」「グローバルとは何を言うのか」といった観点からしっかり学習するとともに、語学力が必要であることを必然のこととして体感すること、また四方を海に囲まれた日本と、陸続きの国境を有する国との国際感覚の違いや、同じ学生でありながら、医師になることへの意識や熱意の違いについて考える機会とする。</p>	
<p>〔研修の成果〕 *事前・事後学習も含む。研修の目的や学習成果の達成状況について、また地域のグローバル化や活性化に資する人材育成の観点からの成果についても記載して下さい。</p> <p>今回、9名の学生が海外研修を終えることができた。各学生はインドネシア、韓国、カナダ、米国といった海外の医療機関で研修を行い、多角的な視点から幅広い体験を収穫した結果となった。ある学生は地域医療とかかりつけ医の重要性を認識した。先進的な臨床研究体制に触れ、基礎医学研究者としての新たな将来像を描くことができた学生もいる。医学英語の重要性を認識し、一部の学生は英語によるプレゼンテーションを経験し、そのスキルを大きく向上させている。積極性と自己主張の価値を実感した学生や、医療現場においてチーム医療の重要性と、患者や医療者の民族的多様性を経験した学生がいる。このようにそれぞれの学生が自身の語学力や、日本とは異なる国際感覚、医療環境、学習環境の違いなどについて直接体験する非常に良い機会となった。本科目の学習目標である「国際的医療とは何か」、「グローバルとは何を意味するのか」については国内の臨床実習では感じ取ることが困難であるが、海外での研修を通して、より深く具体的な理解を得ることができたものと思われる。</p> <p>また、今回の海外研修は、地域のグローバル化や活性化に資するグローバルな人材育成という観点からも大いに成果を上げたと考えている。海外での医療研修を通じて、多くの学生たちは日本とは異なる医療体制や治療方法、異文化との交流、また多様な視点を持つことの重要性などを肌で感じ取ることができたと考えている。これらの経験は、彼らが将来的に日本国内外で活動する際の貴重な資産となり、地域社会の活性化やグローバル化に対する理解を深めることにつながるものである。</p> <p>今回の海外研修は、参加した学生たちの視野を広げるだけでなく、地域医療の活性化と国際的視野を持つ医療人材の育成に寄与する道筋を示してくれたとも考えている。また、研修を経験した学生たちから得られるフィードバックが、周囲の学生たちにも良い刺激となり、間接的にグローバルな視点を持つきっかけを与える良い機会にもなると思われる。今後もこのような機会を継続的に提供することで、より多くの学生が国際的な視野を持つとともに地域医療に活躍できる人材へと成長し、社会貢献を実現することが期待される。</p> <p>最後に、鹿大「進取の精神」支援基金事業からご支援を頂き、コロナ禍のために長期間中断していた海外研修を再開することができました。ご寄附を下された皆様、ならびに鹿児島大学 佐野 輝学長に心よりお礼申し上げます。</p>	
<p>〔今後の課題〕</p> <p>他の学生たちに対して海外研修を終了した学生たちの経験を共有するために海外研修報告会の場を設ける予定です。研修参加学生たちは自身の経験を振り返る機会を持つことができ、他の学生たちは研修を経験した学生から学び、自分たちの学習やキャリアについての視野を広げるきっかけとなることを期待しています。参加学生たちからは医学科学生に向けて、これら経験を通して感じ取ったことをしっかりと伝えてもらい、本研修の意義と有用性を理解してもらい希望学生が増えることを期待しています。</p> <p>今回の海外研修の経験と成果を基に今後もこのプログラムを続け、さらに拡大したいと考えています。学生の身体的・精神的な健康を確保し、安全な環境で研修を行うことは最重要事項です。学生の安全や生活を守るための措置についても、これまで同様時間をかけて受け入れ先と十分な協議を重ねた上で進めたいと思います。</p>	